

対象学年: 第2学年以上  
領域・単元等 「データの活用」

### 1. 作成の趣旨

目的に応じてデータを収集して整理し、その傾向を読み取って判断することや、よりよい解決や結論を見だし、生徒自身が自分の予測や判断について根拠を明らかにして説明する問題を作成しました。日常生活や社会の事象を題材とした授業を行う際の参考になるよう問題場面や問い方を工夫しました。

【関連する学習指導要領の内容】

- ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。〔1年D(1)知識及び技能ア(ア)〕
- 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解すること。〔2年D(1)知識及び技能ア(ア)〕
- 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること。〔2年D(1)思考力、判断力、表現力等イ(ア)〕

### 2. 活用場面等(例)

例1【授業の教材として】

〈啓林館、東京書籍、大日本図書 第2学年2月頃〉

⇒**留意点**

授業の教材として扱う際は、生徒がヒストグラムや四分位範囲、箱ひげ図の必要性和意味について理解を深められるよう、箱ひげ図の箱の位置などに関連付けてデータの分布の傾向について考察する活動を設定しましょう。

また、ヒストグラムと箱ひげ図を対応させて考える問題などに取り組む場面を設けましょう。

例2【単元末や学年末、学年始の定着確認の問題として】

〈啓林館、東京書籍、大日本図書 第2学年3月、第3学年4月頃〉

⇒**活用後について**

定着が不十分な場合は、生徒の誤答やつまずきを確認する等、生徒の実態を丁寧に見取った上で、類似問題に取り組む機会を設けましょう。

### 3. データの活用の授業の充実に向けて

○目的に応じて、データを収集、整理し、それを基に分布の傾向を読み取る活動を設けましょう。その際、判断した理由を説明する活動や、結果を基に批判的に考察する活動を取り入れましょう。

最近の箱ひげ図の方が、箱の位置がより右側にあるから、価格が高くなってきていると判断できるんじゃないかな。

箱ひげ図の箱には、中央値を中心とした全体の約半数のデータが含まれるので、箱がより右側にあると、価格は高くなってきていると判断できると思います。



なるほど。箱ひげ図の箱の位置に着目したんですね。  
○○さんはどうして箱の位置がより右側にあると価格が高くなっていると言えると思いますか。

○複数のデータの分布の傾向を比較する際には、生徒が、代表値や四分位範囲、四分位数、箱ひげ図の箱の位置などに着目して、多面的に吟味する活動を設けましょう。

※データの整理については、必要に応じてICTを活用しましょう。